

えべつ

# 市議会だより

平成18年11月1日発行

No.87

発行 江別市議会  
江別市高砂町6番地  
電話011(381)1051

編集 市議会報編集委員会

印刷 株式会社須田製版



デイキャンプ体験 ～ ジュニアリーダー養成講習会 ～

水道・下水道・病院事業会計決算を認定

## 主な内容

- ◇第3回定例会の概要…………… 2～3
- ◇一般質問、議会の動き…………… 4～7
- ◇決算特別委員会等…………… 8

# 平成18年 第3回 定例会

## 条例等

### ◎夜間急病センター条例の制定

市立病院に併設していた夜間急病診療所を分離・独立し、平成18年10月1日から新たに夜間急病センターとして設置するため、設置目的や所在地のほか、診療時間等を条例で定めるものです。

同センターは、従前と同じく無休で午後7時から翌日午前7時まで、内科及び小児科の夜間急病診療を行います。



### ◎野幌駅周辺土地区画整理事業施行条例の制定

土地区画整理法により、市

が土地区画整理事業を施行しようとする場合には、事業計画や施行規程を定めなければならぬことから条例を制定するものです。

同事業は、連続立体交差事業や街路事業とともに都市計画が決定されており、今後、北海道知事の認可を受けて、事業に着手することになります。

### ◎老人・乳幼児・ひとり親家庭等・重度心身障害者に係る各医療費助成条例の一部改正

健康保険法の改正に伴う字句の整備等を行うほか、児童福祉施設及び知的障害者援護施設に入所されている方の医療費について、障害者自立支援法の施行に伴い措置制度から契約制度に移行し、負担が生じることから、市の医療費助成の対象にするなどの改正を行うものです。

### ◎国民健康保険条例の一部改正

健康保険法において出産の際に支給される出産育児一時金の額が見直されたことに合わせ、当市の国民健康保険における出産育児一時金の額を10月1日より、30万円から35

万円に引き上げるものです。

### ◎市立病院使用料及び手数料条例の一部改正

健康保険法の改正に伴い、字句の整備を行うものです。

### ◎消防団条例の一部改正

消防組織法の改正に伴い、引用している条項等について、所要の改正を行うものです。

### ◎廃棄物の処理及び資源化・再利用の促進に関する条例の一部改正

これまで市の焼却処理施設等では、産業廃棄物のうち、公衆浴場から出る燃え殻や食品製造業者から排出される動植物性の残りかすなどに限って受け入れていましたが、市内や近郊において民間施設が整備され、処理が可能となったことから、受入れをやめるものです。

### ◎職員の給与に関する条例の一部改正

夜間急病センターに勤務する看護師の給料について、適用する給料表を定めるものです。

### ◎特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

市立病院の病院長不在や内科医師が相次ぎ退職したこと

で、医療行政の混乱を招いたことから、設置者の責任として、市長及び助役の給料月額を平成18年10月から平成19年3月までの6か月間、市長は50%、助役は30%をそれぞれ減額するものです。

### ◎財産の取得について

情報の共有化と行政事務の効率化を図るため、事務用コンピュータ180台を平成22年度までの債務負担行為により、2千290万8千389円で取得するものです。

また、小学校の教育用コンピュータを更新に併せ、児童1人に1台を配置して、情報教育の充実を図るため、245台を平成22年度までの債務負担行為により、8千269万8千498円で取得するものです。

## 予算・決算

### ◎一般会計補正予算

国等の予算動向に伴う措置のほか、緊急を要するものへの措置などにより1億8千453万円を増額し、予算総額は383億6千78万1千円になりました。

### 一般会計補正予算の概要

事業内容	補正額(千円)
夜間急病センターの設置に伴う看護職員の人件費等の追加	16,739
福祉有償運送運営協議会の開催経費	197
制度改正に伴う精神障害者通所援護事業費の減額	△7,594
制度改正に伴う精神障害者自立支援給付費の追加	23,858
障がい者の地域活動支援センター事業に対する補助金	3,295
精神障がい者に対する移動支援事業に係る経費	611
障害者自立支援法改正に伴う電算システム改修経費の追加	756
保育所運営費国庫負担金確定に伴う精算償還金	1,550
生活保護費国庫負担金確定に伴う精算償還金	37,148
夜間急病センター設置に伴う運営経費	68,142
ましん・風しんワクチンの2回接種に係る経費の追加	9,471
農業法人に対する営農機械購入費の補助	3,164
商工業近代化資金融資の利用増による融資原資の追加	54,876
除排雪等に対する有識者会議開催経費	177
出産育児一時金の増額に伴う国保特別会計への繰出金の追加	2,500
夜間急病診療所の移設に伴う病院事業会計への繰出金の減額	△30,360
補正総額	184,530

### ◎介護保険特別会計補正予算

◎国民健康保険特別会計補正予算  
 出産育児一時金の支給額を増やすことに伴い375万円を措置するほか、保険財政共同安定化事業に対する拠出金として4億7千784万1千円を増額しました。

### ◎病院事業会計補正予算

決算に基づく国費等の返還金として5千61万5千円を、決算剰余金を基金へ積み立てるため5千57万9千円をそれぞれ増額しました。

◎病院事業会計補正予算  
 夜間急病診療所の分離・独立に伴い、一般会計へ移行する医師及び看護師に係る給与

### ●採択された陳情

◎不採択となった陳情  
 ◎障害者自立支援法の施行による精神障害者福祉の改正にかかわることについて  
 江別市精神障害回復者クラブ  
 江別空色クラブ  
 会長 土屋晴治氏ほか2団体

### 陳情

◎専決処分  
 環境クリーンセンター内で発生した車両事故の物的損害に係る賠償について、相手方との示談が成立した旨の報告がされました。

### 報告

◎平成17年度水道・下水道・病院各事業会計の決算認定  
 各事業会計決算が認定されました。審査経過など詳しくは8ページをご覧ください。

費5千88万1千円を減額するほか、薬品費等740万7千円、医療事務委託料等340万2千円をそれぞれ減額しました。

### 意見書

かれる江別市立病院の診療体制の充実を求めることについて  
 全日本年金者組合江別支部 支部長 森元昌輔氏

◎自治体病院の医師確保対策を求める意見書  
 新医師臨床研修制度の実施に伴う医師の引揚げや開業などに伴い、公立病院の医師不足が深刻化しております。江別市においても市立病院の内科医師の退職が相次ぎ、医師補充ができず、病院経営にも大きな影響を及ぼしております。

◎義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書  
 義務教育費国庫負担制度は、すべての子供たちに無償で一定水準の教育機会を保障するために設けられているものですが、平成18年度の国庫負担

### ◎小川市長に対する問責決議

◎季節労働者の雇用と生活の安定を求める意見書  
 北海道では、気象条件によって、冬期間に失業を余儀なくされる季節労働者が多数存在しますが、長引く不況の影響により、雇用情勢も深刻さを増しています。現在、雇用保険制度における特例一時金の見直し等が議論されており、廃止あるいは給付額が減額された場合には、季節労働者の生活や建設業者の経営など、地域経済にも深刻な影響を及ぼすことから、雇用保険特例一時金の存続・維持と季節労働者対策の強化を図ることを国に要望しました。

### 決議

次の決議は、採決の結果、賛成少数により否決されました。

# 一般質問

今定例会では、12人の議員が一般質問を行いました。各議員が行った質問の中から、2項目を選び、要約して掲載しています。

い が ら し  
**五十嵐 忠男** 議員  
た だ お  
民主の会

## 環境マネジメントシステム

**問** 学校の環境マネジメントシステムについて、特に灯油の使用量に対する取り組みをどのように進めていくのか。

**答** 各学校に対し、前年と比較した灯油や電気の使用量を通知することで、環境負荷低減の意識向上を図っている。

また、個別暖房校では不要な暖房の停止、集中暖房校では設定温度の細かい調整を行ってきた。

今後も、教職員の意識醸成、環境教育を通じての児童生徒への指導も含め、環境に配慮した教育活動に努めたい。

## 雪捨場のごみ対策

**問** 雪捨場のごみの量を減らすために、ポイ捨て対策を含めた様々な対策を強力に進め

る必要があるのではないかと考えている。

**答** 雪捨場への不法投棄は減少しているが、不適正に排出されたごみや道路等に捨てられたごみが除排雪時に混入して持ち込まれたものは増加傾向にあるため、ごみの出し方について自治会等へ文書による周知を行いたい。

市民の美化意識の向上が、路上へのポイ捨てによるものを含め、雪捨場のごみの減少にもつながると認識しており、今後も関係部局が連携し啓発・指導等に取り組みたい。

このほかに、保育園における環境マネジメントの取り組みについて質問がありました。

た て い し  
**立石 静夫** 議員  
し ず お  
自由市民政策会議

## 財政の見通し

**問** 財政状況は一層厳しくなる見込みだが、投資型の顔づくり事業の推進について、財

政面でどう考えているか。

**答** 21年度までの財政試算では、約10億円の収支不足が発生するなど厳しい見込みであるが、まちづくりの基盤となる投資的事業は必要なものと考えている。

顔づくり事業の推進については、全体事業の見直しを行い市負担の低減を図ったほか、各年度の費用負担を平準化し、さらには地方債の発行も将来にわたり財政への過度な負担にならないよう配慮する中で実施したい。

## 野幌駅周辺再開発

**問** 駅前への公的な施設の建設は地域活性化につながる場合もあるが、計画でどのような施設を考えているのか。

**答** 野幌駅周辺では、鉄道高架事業に伴い、南北交通の連携が強化されるほか、市民がにぎわい集える商業や交流、都心居住からなる土地利用の高度化を図り、拠点街区の形成を目指している。

予定している交流施設は地域の活性化を視野に入れながら、市民・住民ニーズの把握に努め、積極的に民間活力を取り入れ、公的機能の在り方について検討していきたいと

考えている。

このほかに、行政組織の改革、江別駅周辺再開発の進捗よく状況、墓地事業の民営化などについて質問がありました。

よ し も と  
**吉本 和子** 議員  
かず こ  
日本共産党議員団

## 市立病院への財政支援

**問** 医療収益が悪化しているが、病院の公共性を考慮し、一般会計からの財政支援を拡大すべきではないか。

**答** 国の三位一体改革による行財政改革により、一般会計においても相当に厳しい財政運営を余儀なくされており、安易な対応はできない。

しかし、現在病院は極めて厳しい状況に置かれており、基本的な病院事業会計への繰り出し基準を維持しつつ、財政支援の可能性について検討していきたい。

## 農地の環境保全

**問** 国は農地・水・環境保全対策を19年度から導入しようとしているが、市はどのような認識を持っているのか。

**答** 農地を取り巻く自然環境は農家の財産であると同時に、市民共有の地域財産でもあり、維持・保全すべきものと認識している。

市は、農家と都市住民が協働で草刈りや排水溝整備など農地の環境保全活動を行う地域活動組織に対し、国の方針に基づき、活動計画や環境対策に対する指導や助言、協定書の締結や実践状況の履行確認を行う。

このほかに、市立病院の役割と今後の在り方、品目横断的経営安定対策、農業振興計画の策定などについて質問がありました。





星 秀雄 議員  
明政会

### 指定管理者制度

**問** 本年4月から、26施設で指定管理者制度がスタートしたが、今後の実施計画は。

**答** 制度導入に向けて条件や施設の在り方の整理が必要となる施設が12種類26施設あり、そのうち老人憩の家、住区会館などは地域の団体の理解が得られ、条件が整えば、平成19年4月から導入したいと考えている。

そのほかの公募導入を目指す施設については、いまだ時間を要することから、引き続き諸条件の整備に努力したい。

### 跨線人道橋

**問** 江別駅東側の跨線人道橋は老朽化が激しく危険なため、早急に架け替えが必要と考えるが、今後の計画は。

**答** 現在、跨線人道橋は、蹴込みの部分などに一部劣化が見られるが、橋を支える主柱自体はしっかりしており、今後も使用に耐えるものである。しかし、高齢化の進行に伴

い、こうした通路には、バリアフリー化の要請が高まることから、補助金確保が前提となるが、第5次総合計画の後期計画の中で実現の可能性について検討していきたい。

このほかに、道州制特区及び支庁再編、市立病院問題などについて質問がありました。



宮澤 義明 議員  
公明党

### 市立病院の経営責任

**問** 混乱している病院経営について、市長自身が自らの言葉で市民、患者の皆さんに責任を明確にするべきではないか。

**答** 病院の開設者として最終的な責任は市長が負うものであり、今回の事態に立ち至ったことについて責任を痛感しており、市民、患者の皆さん、議会、関係者各位に対し深くおわびする。

ここですべてを投げ出すのは無責任であり、医師の確保を含め、市民医療を守るための道筋を付けるのが責任の取り方であると考えている。

### 企業誘致条例の改正

**問** 誘致内容の精査を行い、企業が進出可能となる条件を提示するために、早期に誘致条例を改正すべきではないか。

**答** 企業誘致の手法の一つに金銭的な優遇策があり、道内のほとんどの都市で固定資産税相当額の補助を行っており、11市では雇用増に対する助成を行っている。

企業誘致は都市間競争でもあり、当市でも新年度に向けて、先端産業等の試験・研究関係の職種やコールセンターなどの産業支援サービス業を対象に、雇用増と操業前研修に対する助成制度を設けたいと考えている。

このほかに、土地区画整理事業、市町村合併、少子化対策などについて質問がありました。



鈴木 真由美 議員  
環境・平和の会

### 障害者自立支援審査会

**問** 障がい者の認定を行う審査会委員には、身体、精神、知的障がいの特性を理解してい

る人を入れていくか。

**答** 審査会委員は、4グループの24名で構成しており、そのうち精神障がい、知的障がいに通じた方として、精神科医師、精神保健福祉士、精神障がい者NPO法人理事長、知的障がい者の保護者あるいは施設職員の方々に各グループに所属していただき、医師意見書や聞き取り調査を総合的に勘案し判定をいただいている。

### 地域生活支援事業

**問** 情報障がいのある方に対する手話通訳者の設置、派遣などのコミュニケーション保障は従来どおり実施するのか。

**答** 地域生活支援事業は、地域の特性やニーズに応じて市町村ごとに実施するもので、10月からは新たなサービス体系へ移行するが、サービス水準の低下を招かないよう必要不可欠な事業を実施していく。コミュニケーション保障は情報障がいのある方にとって最も基本的な支援と考えており事業継続を図っていききたい。

このほかに、児童虐待及びDV防止、児童扶養手当、子育て支援室などについて質問がありました。

### 議会の動き

23日	議会議長 決算特別委員会
17日	議会議長 議事編纂委員会
16日	建設常任委員会
11日	厚生常任委員会
10日	総務文教常任委員会
26日	議会議長 議事編纂委員会
22日	議会議長 議事編纂委員会
19日	議会議長 議事編纂委員会
13日	議会議長 議事編纂委員会
13日	議会議長 議事編纂委員会
12日	議会議長 議事編纂委員会
11日	議会議長 議事編纂委員会
8日	議会議長 議事編纂委員会
7日	議会議長 議事編纂委員会
6日	議会議長 議事編纂委員会
6日	議会議長 議事編纂委員会
31日	議会議長 議事編纂委員会
29日	議会議長 議事編纂委員会
25日	議会議長 議事編纂委員会
24日	議会議長 議事編纂委員会

あかさか  
**赤坂 伸一** 議員  
しんいち  
民主の会

**医師の労働環境**

**問** 固定医確保のため、労働環境を再点検し、特殊勤務手当を充実させるなど改善すべきではないか。

**答** 病院勤務医の労働条件は厳しい面があり、休日及び夜間勤務の適正化は非常に重要な課題である。抜本的な解決には、医師数を確保することが最も有効であるが、即座に実現することは困難なため、少しでも労働環境を整備できるように努めていく。

出動手当など特殊勤務手当は、診療科間で不公平が生じないよう、勤務の実態に即した支給の在り方について医師とも十分協議の上善処したい。

**二次救急病院への搬送体制**

**問** 救急車での二次救急病院への搬送時間と搬送体制はどのようなになっているのか。

**答** 昨年の病院への搬送時間は、江別市内では約45分、札幌市内では約1時間33分となっている。



救急車は、けが人や急病人を緊急に病院へ搬送するためのものであるが、利用者のうち、約半数に緊急性がなかったことから、救急車の適正利用について広報えべつなどで周知するとともに、4台の救急車で職員一丸となり対応を図りたい。

このほかに、市立病院組織の現状と体制整備、医療事故対策、市立病院経営健全化計画と収支などについて質問がありました。

みやかわ  
**宮川 正子** 議員  
まさこ  
公明党

**高齢者の入浴支援**

**問** 公衆浴場が減少し入浴に

苦労されている高齢者への支援として、国の様々な事業を活用して、一般公衆浴場を活用すべきではないか。

**答** 高齢者の方には月一回のふれあい入浴デーや敬老の日の公衆浴場の無料開放を行い健康の増進と交流の場としている。

一般公衆浴場で生活習慣病の予防・改善など健康に関する様々な情報を提供する国の健康入浴推進事業については、市が進めている市民健康づくりプラン21との関連を含めて検討していきたい。

**子供の安全対策**

**問** 通学路のパトロール活動等を行う個人や団体の参加促進のために腕章等を渡してはどうか。

**答** 市内では、学校やPTA、自治会等が安全活動を行っており、これは地域の安全確保上、大きな抑止力となっていると認識している。

これらの組織は活動に応じたパトロール携行品を工夫し自主的に活動しているが、市では、学校、PTA、地域が協働して取り組む地域安全活動事業に対して支援を行っており、今後においては、各学

校区内での対応など、学校、地域と協議していきたい。

このほかに、要援護者の自立支援、高齢者向けのふる付き住宅の整備、市職員による出前講座などについて質問がありました。

さいとう  
**齊藤 佐知子** 議員  
さちこ  
公明党

**マタニティマーク**

**問** 子育て支援対策として、マタニティマークの実用化に向けて取り組む必要があるのではないか。



**答** 妊娠初期などは外見で分かりにくいこともあり、国はマタニティマークを作成・周知し、妊産婦が周囲から理解を得られる環境づくりを推進している。

市では、子育て支援えべつ21プランの中で、子育てを社会全体で支援する視点に立つ

た取り組みを推進しており、マークの実用化についても他市の状況を含めて検討していきたい。

**市立病院の財政健全化**

**問** 医師の不足により病院経営は厳しい状況が続いているが、今後の見通しと一般会計への影響はないか。

**答** 病院の収益は、今後の医師確保の時期とも関係するが大変厳しい状況になると認識しており、患者数、診療収益などの今後の動向によつては補正予算についても検討していきたい。

市民に安定した医療を提供するためにも、病院経営の健全化を目指す考えに変わりはなく、市の各施策の足かせとならないよう配慮していきたい。

このほかに、子育てマイスター地域活動支援事業、市立病院への地方公営企業法の全部適用、市立病院職員のプロパー化などについて質問がありました。



しみず なおゆき  
清水 直幸 議員  
自由市民政策会議

野幌駅高架化建設

**問** 野幌駅高架化建設にあたり、市内への経済波及について、どのように取り組んでいくのか。



**答** 野幌駅周辺連続立体交差事業は北海道が事業主体の短期集中型の公共事業で、新たな企業進出や商業、業務施設などへの経済波及効果に期待をしている。

地域経済の活性化に向け、高架建設工事や建設資材等の使用について、地元企業にも機会を与えていただくよう関係機関にお願いするが、企業自身も国、道など他の事業に対して積極的に入札等に参

加できるように自助努力願いたい。

市民参画のまちづくり

**問** 民意を行政施策に反映させるための市民参画についてどのように考えるか。

**答** 各施策の企画立案から最終的な意思決定までの過程において、市民が意見を述べ提案を行い、さらに各施策の実施過程で参画していただくことが重要と考えている。

各種審議会への市民参加や市民説明会の開催、パブリックコメント手続などを活用する中で、市民意見を市政に反映してきたところであり、今後一層市民参画を進めるための手法を積極的に取り入れていきたい。

このほかに、除排雪事業、災害対策、小中学生の学力低下などについて質問がありました。

しまだ やすみ  
島田 泰美 議員  
自由市民政策会議

みどり保育園の民営化

**問** 民営化の是非の前に、安

心して預けられる環境整備が優先であると思うが、今後どのように進めていくのか。

**答** 社会福祉審議会の答申を踏まえ、基本方針を策定し、保護者に協議をお願いしているが、民営化の是非の議論が先として、協議に応じてもらえない状況にある。

市としては、総合的な子育て支援サービスをより一層充実させるため、民営化に向けた事務手続を進めていきたいと考えている。

なお、保護者とは基本方針等の理解を得るために引き続き努力していきたい。

市立病院事業の健全化

**問** 医師確保ができたとしても、設置責任者に相当な決意がない限り、病院事業の改革はできないのではないか。

**答** 経営健全化計画は、医師確保に一定程度の見通しを得た上で練り直す必要がある、医師の待遇についても早急に見直していきたい。また、内科系医師にとって過重な勤務の要因の一つであった夜間急病診療所は10月1日から分離独立することとした。

地域医療の確保と経営の健全化のため、可能な方策を実

行に移すとともに、まずは複数の内科常勤医師の確保に向け、最大限の努力を傾注したい。

このほかに、市民参画条例、PFI事業への取り組み、レジ袋削減効果などについて質問がありました。

いとう つよし  
伊藤 豪 議員  
自由市民政策会議

市立病院の再生

**問** 病院長の不在や医師不足の状況で、財政的にもひっ迫していると思うが、病院は元の状態に戻るのか。

**答** 病院は、非常に厳しい状況になっており、多くの市民



の方が非常に心配をされ、再生を願っていると判断している。

全くただ元どおりに戻る再建というよりも、まずは足掛かりとして常勤医を確保し、その後、新しい病院の方向を見いだしていかなければならないと考えており、その可能性はあると考えている。

子育て特区構想

**問** 江別の新しい心の顔づくり事業として、広く市民の声を集め、子育て特区構想に取り組むことを検討してはどうか。

**答** 江別を特色あるまちとするために、子育てに重点化した施策の展開を図ることは、少子化傾向の中、次代を担う子供たちの環境づくりに非常に重要だと考えている。

市では、第5次総合計画の子育て環境の充実という施策に基づき各種事業に取り組んできたが、今後も既成概念にとらわれずに、市民の期待に沿った仕組みと事業展開について研究していきたい。

このほかに、市立病院経営の理念、市職員のみ市民サービス精神、江別駅前再開発事業などについて質問がありました。

# 決算特別委員会

水道・下水道・病院の平成17年度事業会計決算は、定例会初日に10名で構成する決算特別委員会に付託され、基本水量の見直し、配水区域ブロック化事業の進捗よく状況、浄化センターの稼働率、夜間急病診療所の分離・独立の経過、後発医薬品の利用状況等について質疑を行うなど、慎重に審査を行いました。

定例会最終日に審査結果を報告し、水道事業会計は多数で、下水道事業会計及び病院事業会計は全員一致で、いずれも認定されました。

以下、決算特別委員会での討論の概要をお知らせいたします。なお、下水道事業会計については、討論がありませんでした。

## 討 論

### 水道事業会計

**不認定** 安心・安全な水供給の根幹となる浄水場の運転管理業務を民間に委託し、職員とコストを削減対象としたことは認められない。今後、団

塊世代の大量退職を迎え、技術的継承が重要な課題であるにもかかわらず、職員の採用凍結など計画的な職員の採用や育成が行われていないと言えない。また、健全経営が維持され、純利益を計上し続けていることから、基本水量の見直し、給水停止措置への適切な対応など、市民サービスを充実させるべきである。

### 配水区域ブロック化

**認定** 配水区域ブロック化事業等による配水管網整備などの、財政計画に基づいた施設の整備が行われており、水道料金の支払窓口をすべてのコンビニエンスストアに拡大するなど、利用者サービスの向上に努めている。浄水場の運転管理業務を民間に委託して維持管理費等の節減を図り、効率的な事業運営に努めており評価する。今後も安全な水道水の安定的供給に努めるとともに、健全経営を維持されるよう期待する。

### 病院事業会計

**認定** 患者数及び診療収益の減少等により、引き続き厳しい経営状況となっているが、医療サービスの品質向上とコスト削減に向け努力していることを評価する。夜間診

療体制が市立病院内科医の負担となっていたにもかかわらず、認識の甘さと危機感の欠如により対応が遅れたことは、市民・職員との信頼関係まで失いかねない。今後は、公平な人事考課制度の導入と給与体系の見直しなど、独自の人事管理システムを導入し、経営責任の明確化を図ることが、医師確保の上でも必要であり、地方公営企業法の全部適用を強く要望する。

### 純損失が見込みを下

**認定** 純損失が見込みを下回ったことは経営努力の結果として認められるが、相次ぐ医師の退職により内科入院病棟が閉鎖を余儀なくされるなど、現時点では中核病院としての機能を失っている。医師退職の原因について幾つかの要素が取り上げられているが、同じ失敗を繰り返さないためにも、原因を明らかにすることが必要である。市民に信頼される市立病院として再生されるよう、議会は議会の立場から行政を監視し、市民の声を市政に反映させる役割をしっかりと担っていく決意を申し上げ認定する。

### 経費節減努力を評価

**認定** 経費節減努力を評価するが、約36億2千600万円の

累積欠損金が生じており、今年度に入ってからは医師確保問題により、医業収益に多大な影響が及ぶものと考えられる。全国的な医師不足の中で、医師確保は厳しい面もあるが、最大限の努力を望むとともに、地域医療機関との連携や市民への情報提供をしっかりと行いながら、全職員一体となって市民の健康、安心を支える公立病院としての自覚と機能を発揮するよう、一層の努力を期待する。

## 平成17年度 各企業会計の決算状況

(単位：千円)

		収入	支出	差引収支額
水道事業	収益	2,490,531	2,268,395	222,136
	資本	24,249	921,334	△897,085
下水道事業	収益	3,106,811	2,840,685	266,126
	資本	1,313,069	2,709,009	△1,395,940
病院事業	収益	6,721,064	6,934,426	△213,362
	資本	339,437	480,180	△140,743

## 編集後記

朝夕の寒さが身にしみる頃となりましたが、冬の到来を前に灯油価格の動向が心配です。

さて、9月定例議会では、平成17年度の水道・下水道事業、病院事業会計の決算を審議、そして市民の皆様も大変心配されている市立病院の内科常勤医師の不在問題等について活発な議論が行われ、厚生常任委員会には連日多くの傍聴者が来られるなど、関心の高さが感じられました。

今後も市立病院の問題をはじめ山積する行政課題を克服し、安心・安全なまちづくりのため、議員一丸となって努力していきたいと思っております。

